

2006 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">総合演習 I</p>	<p>対象学科・学年 教育教職 1 回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">安本 伊佐子</p>
<p>授業テーマ</p> <p>身の回りで起こっている社会問題（障害者、高齢者、子ども、環境等）に気づく。</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>学生一人ひとりの関心事を発表し、グループでのテーマ設定を行いグループメンバーの協働作業により結果を出す。協働作業のプロセスで役割意識や協調性、責任感など多くの学びがあると考え。また、学生同士の信頼関係の形成を行う。</p>		
<p>評価方法</p> <p>出席状況、取り組み姿勢（レジュメの作成、発表など）を総合的に評価する。</p>		
<p>テキスト</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>参考書</p> <p>適宜紹介する。</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション、自己紹介、将来への希望等</li> <li>2 総合演習の進め方について話し合う。</li> <li>3 それぞれの抱く興味関心事等について発表しあう。</li> <li>4 グループ分けをしてグループで取り上げるテーマについて話し合う。</li> <li>5 テーマについてそれぞれ発表、担当教員よりコメントする。総合演習で行うテーマを決定する。</li> <li>6～8 グループでのテーマ設定にもとづき話し合いや資料収集等を行い、まとめる。</li> <li>9 グループ発表、全体で意見交換をする。</li> <li>10～13 グループ発表に対して他のグループからあった意見等を反映し、再度グループで話し合いを行う。新たなテーマ設定を行い、協働作業を行う。 前半の協働作業は、メンバー間の信頼関係の形成やグループメンバーそれぞれの役割遂行に多くのエネルギーを費やすことになる。後半については、協働作業の進捗状況の管理やメンバーへの気配りなど自らのこと以外への配慮も課題とする。</li> <li>14 発表、意見交換</li> <li>15 まとめ</li> </ol>		